

PROTECH®

ポータブルスタジオプロンプター

HDP-1500

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
なお、取扱説明書は必要に応じてご覧になれるよう
大切に保管してください。

安全上の注意 必ずお守りください。

プロテック商品共通 別売ACで使用される場合を含む

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表で区分し、説明しています。

	警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

設置について

警告

■不安定な場所におかない！  落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。 禁止	■電源コードに重い物を乗せない！  下敷にならないよう注意してください。コードが傷ついて、火災・感電をおこすおそれがあります。 禁止	■水場に設置しない！  火災・感電の原因となります。 水場使用禁止
---	--	--

異常時の処理について

警告

■本機を落したり、破損した場合は電源スイッチを切り、電源を抜く！  そのまま使用すると、火災・感電をおこすおそれがあります。 電源を抜く	■本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源を抜く！  そのまま使用すると、火災・感電をおこすおそれがあります。 電源を抜く	■本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源を抜く！  そのまま使用すると、感電・事故をおこすおそれがあります。 ●お買い上げの販売店に御相談ください。 電源を抜く
■煙りが出ている、変なおいや音がある等の異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源を抜く！  電源を抜く	■電源コードが痛んだ場合は、交換する！  そのまま使用すると、感電・事故をおこすおそれがあります。 ●お買い上げの販売店に御相談ください。	

安全上の注意

必ずお守りください。

使用方法について



警告

■本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない！  こぼれて、本機内部に入ると、故障や事故をおこすおそれがあります。 禁止	■機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！  火災・感電の原因となります。 禁止	■本機を改造しない！  火災・感電の原因となります。 分解禁止
■水場で使用しない！  火災・感電の原因となります。 水場使用禁止	■本機の裏フタ・キャビネット・カバー等はずさない！  感電の原因となります。 点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。 分解禁止	■機器がぬれたり、水が入らないようにする！  火災・感電をおこすおそれがあります。 雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。 禁止

使用方法について



注意

お手入れについて

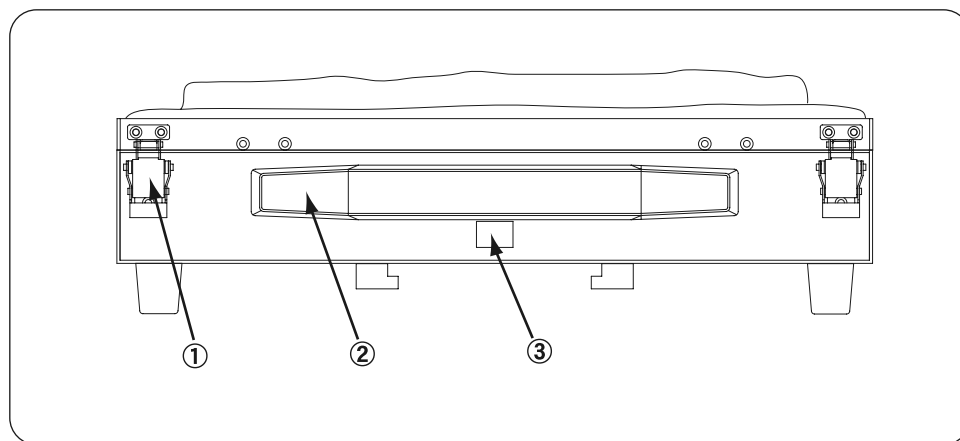
■本機の上に重い物を置かない！  バランスがくずれて、落下して、けがの原因になります。 禁止	■本機に乗らない！  倒れたり、こわれたりして、けがの原因になります。 禁止	■お手入れの際は安全のため、スイッチを切り、電源を抜く！  感電の原因となる場合があります。 電源を抜く
■使用しない時は、安全のため電源を抜く！  火災・感電の原因となります。 電源を抜く	■移動させる場合は、電源を抜き、外部のコードをはずす！  コードが傷つき、火災・感電の原因となります。 電源を抜く	■1年に1度くらいは、販売店に内部掃除の相談を！  本機の内部にほこりがたまったら、使用し続けると、火災・故障の原因となります。

目次

安全にお使いいただくために必ずお守りください	2～3
ご使用にあたってのお願い	2～3
各部名称と働き	5～13
正面パネル	5
左側パネル	6
右側パネル	7～8
背面パネル	9～10
上面パネル	11
下面パネル	12
カメラ台座	13
主な使用方法	14～20
組み立て方法	14
出画方法	19～20
Promaソフト ユーザーズガイド	21～29
HDP-500(オプション)	30
システム構成図	31
外形図	32
主な仕様	33

各部名称と働き

正面パネル



①天板固定金具

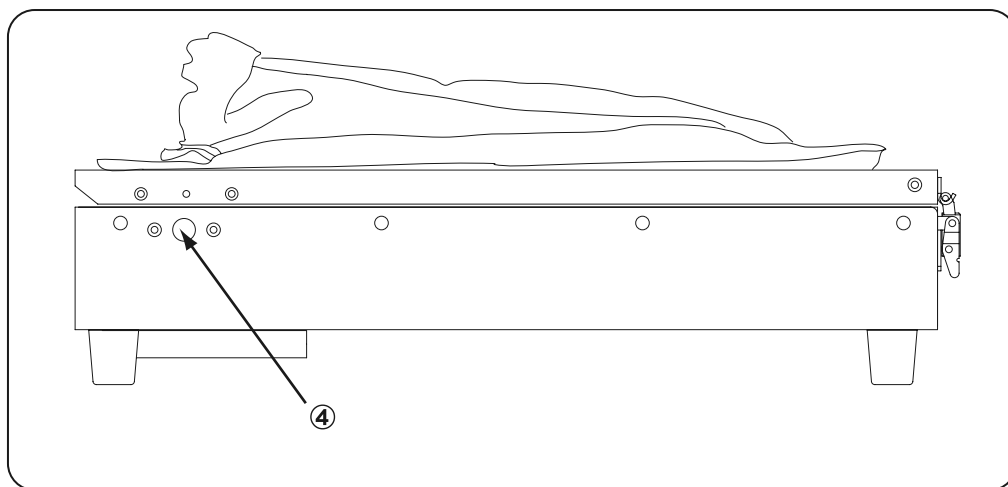
ミラーが内蔵された天板を固定します。

②取手

プロンプターを移動する時に持ちます。

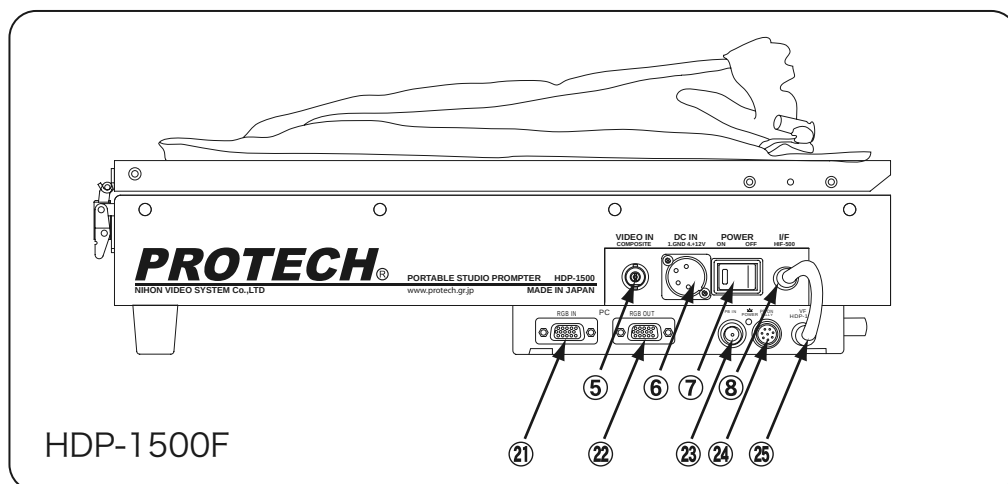
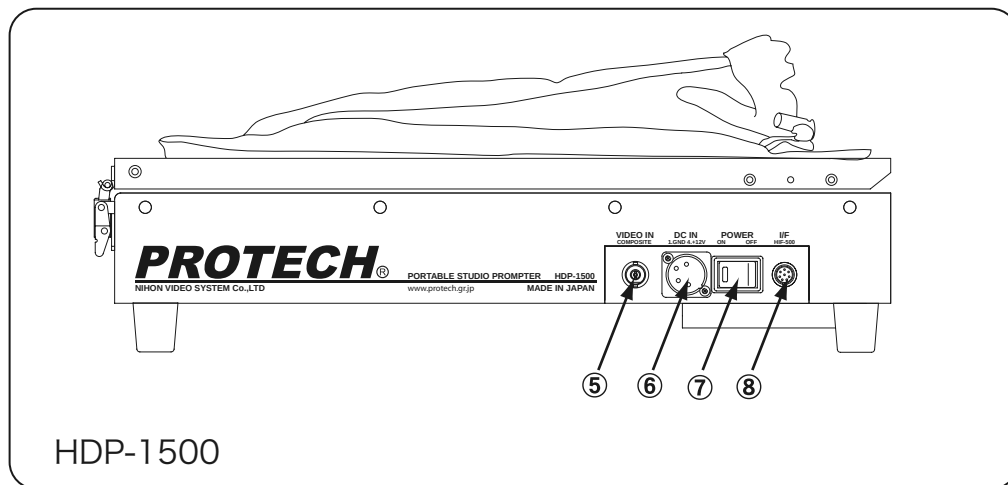
③タリーランプ／パワースイッチ

I/Fコネクタからの信号により点灯します。
液晶ユニットの電源をON/OFFすることができます。



④天板ロックツマミ

ミラーの角度を任意の位置で止める為此のツマミにて天板を固定します。



⑤ VIDEO IN

プロンプタにコンポジット信号にて入力する場合はこのBNCコネクタに接続します。

(注)HDP-1500Fの時は使用しないで下さい。

⑥ DC IN

キャノン4Pコネクタから本体に電源を供給します。

⑦ POWER SW

本体の電源をON/OFFにします。

⑧ I/Fコネクタ

外部とのインターフェース用6Pコネクタ

PIN番号	信号名
1	HIF-500用電源 GND
2	HIF-500用電源 +12V
3	VIDEO IN GND
4	VIDEO IN SIG コンポジット 1VPO
5	タリー信号 GND
6	タリー信号 SIG OPEN=OFF GND=ON

⑪ RGB INコネクタ

PCからの映像を入力するミニDsub15Pコネクタ

⑫ RGB OUTコネクタ

PCからの映像をディスプレイに出力するミニDsub15Pコネクタ

⑬ PB INコネクタ

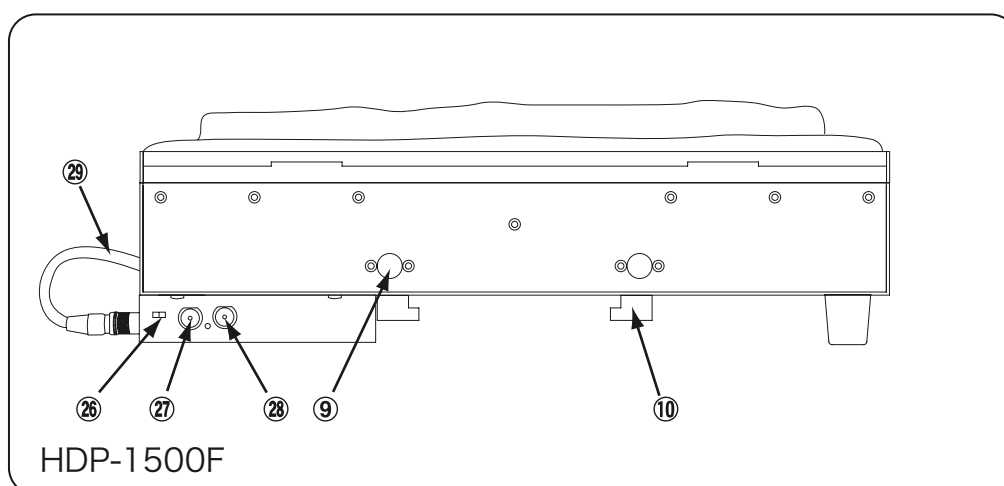
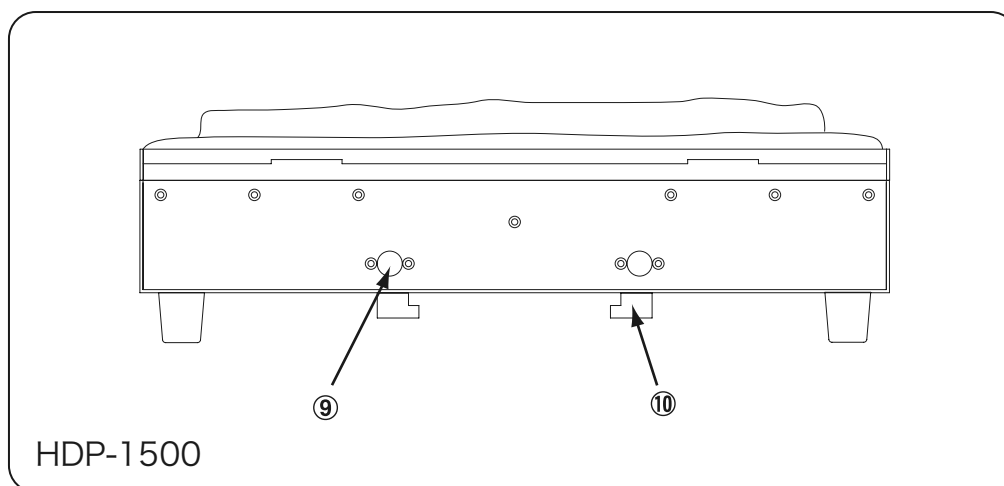
プレイバック映像を入力するBNCコネクタ

⑭ PB ONコネクタ

入力をPB IN入力に切替えるSW及びタリー信号を入力するコネクタ

⑮ I/F HDP-1500 6Pコネクタ

HDP-1500本体と専用ケーブルにて接続する6Pコネクタ



⑨カメラ台座固定用穴

本体にカメラ台座を固定するネジを挿入する穴です。

⑩カメラ台座レール

このくぼみにカメラ台座の本体受板を挿入して本体を固定します。

背面パネル

②⑥ VODEO↔RGB切換スイッチ

入力をVIDEO IN(コンポジット)、RGB IN(アナログ15P)に切換えるスイッチ。

②⑦ VIDEO INコネクタ

コンポジット信号を入力するBNCコネクタ。

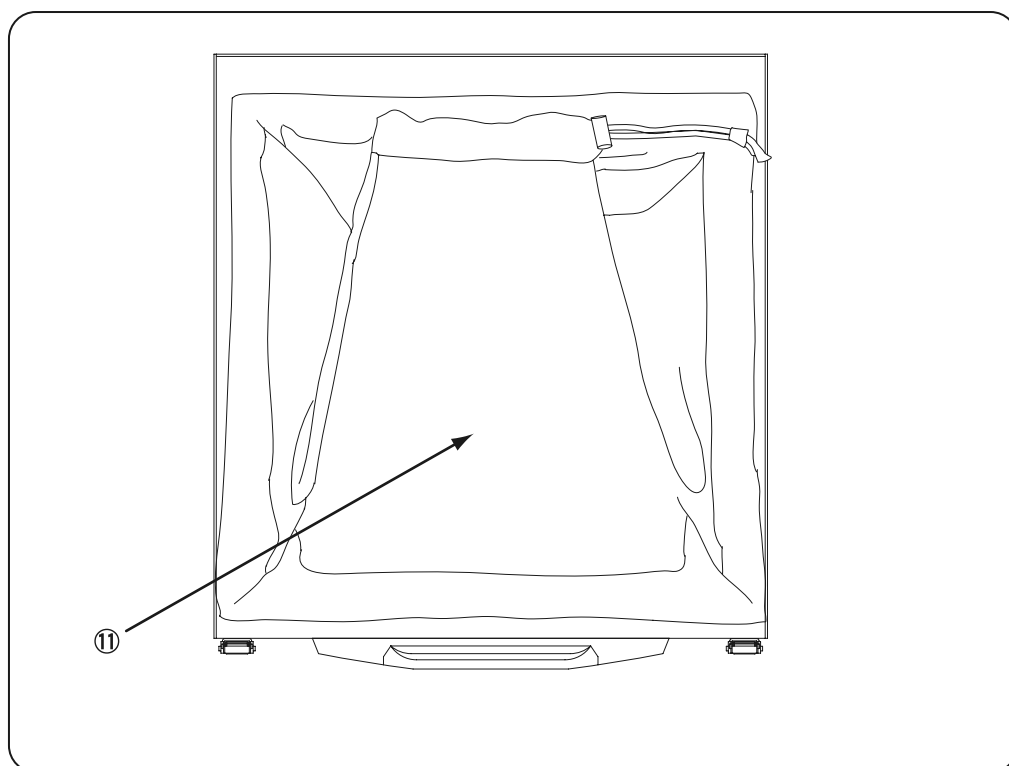
②⑧ MONITOR 出力コネクタ

プロンプタと同じ表示をコンポジット信号で出力するコネクタ。

②⑨ IF接続ケーブル

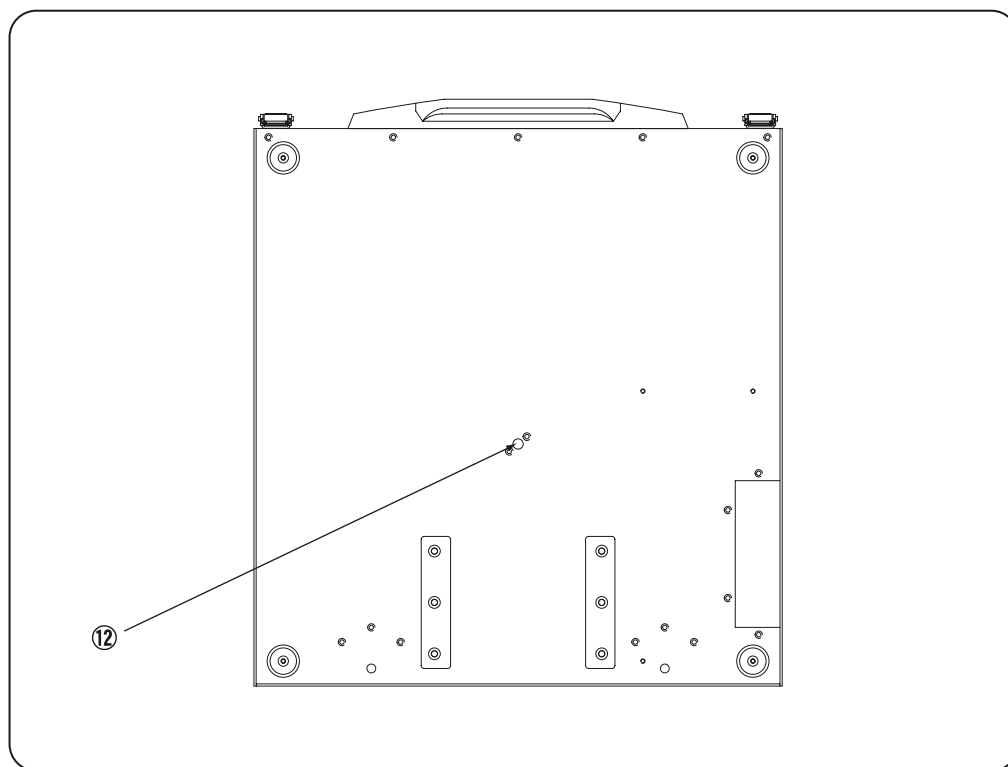
HDP-1500本体とPC接続ユニットを接続するケーブル。

(注)出荷時は接続されておりませんのでお客様にて接続して下さい。



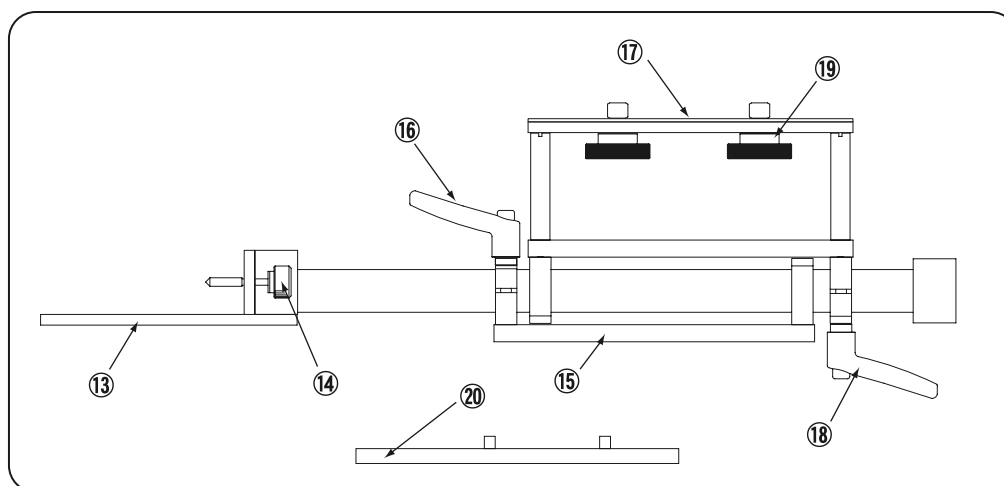
⑪ 遮光カバー

レンズを中に入れ口元を絞って外光を遮断します。



⑫三脚用ネジ穴

プロンプタ本体のみを三脚に固定する時にこの穴を使用します。サイズは1/4インチです。



⑬ 本体受板

プロンプタとスライドユニットを結合させる時本体を受ける板で本体下部に挿入します。

⑭ 本体固定ネジ

プロンプタ本体を固定する為のネジ

⑮ 三脚固定板

プロンプタを三脚に固定するネジ穴の開いた下板

⑯ 三脚固定板ロック金具

三脚固定板をスライドさせ任意の位置で固定するロック金具

⑰ カメラ固定板

プロンプタにカメラを固定する三脚プレートを固定する為の上板

⑱ カメラ固定板ロック金具

カメラ固定板を移動させカメラの前後位置を自由に調整し固定するロック金具

⑲ カメラ固定ネジ

カメラを装着する三脚プレートを固定するネジ3/8インチのネジ2個にて固定します。

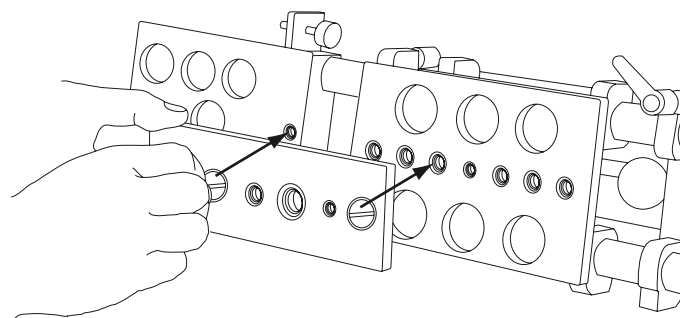
⑳ スライドプレート

小型カメラを使用する場合に三脚プレートの位置を前方に移動する為のプレート。

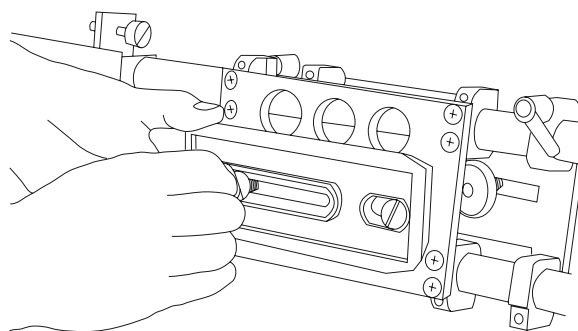
主な使用方法

■組み立て方法

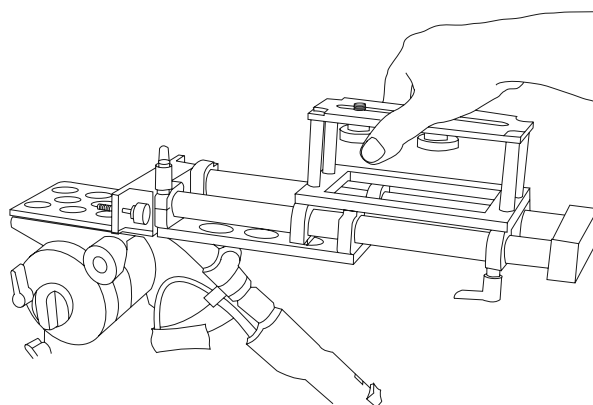
1. 使用するカメラが小型の場合又は三脚プレートが小さいタイプの場合カメラ台座にスライドプレートを固定します。三脚台座の本体受板及び三脚固定板に付属ネジにてしっかり固定します。



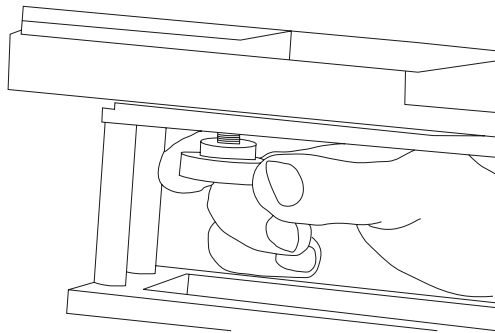
2. カメラ台座に使用する三脚プレート在三脚の付属のネジにて固定します。



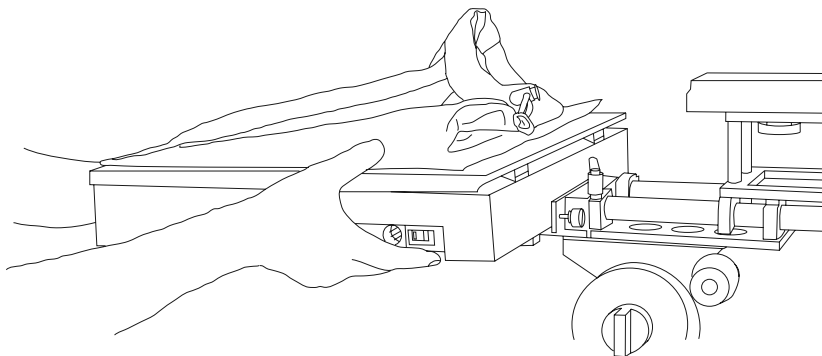
3. 三脚のチルトをしっかりと固定した後カメラ台座を三脚に固定します。



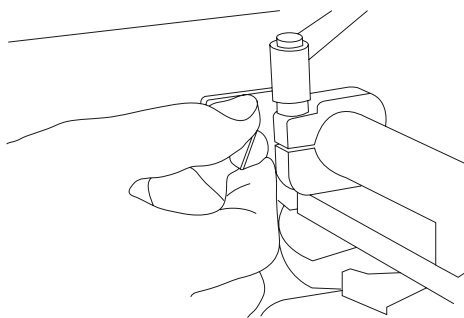
4.カメラの三脚ベースをカメラ台座に付属のネジにてしっかりと固定します。



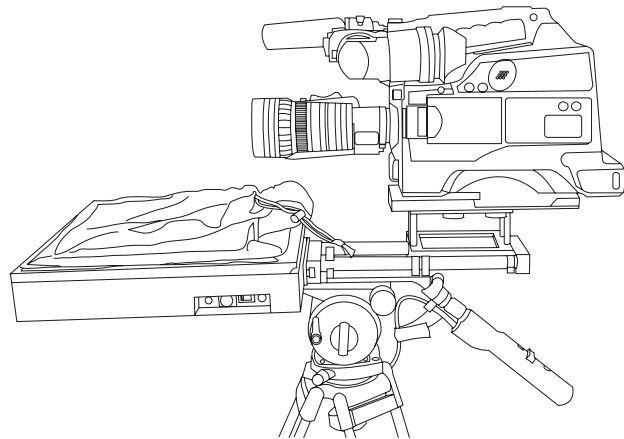
5.プロンプタ本体をカメラ台座の本体受板に正しく乗るように本体底部のレールにうまく合わせてスライドさせて下さい。



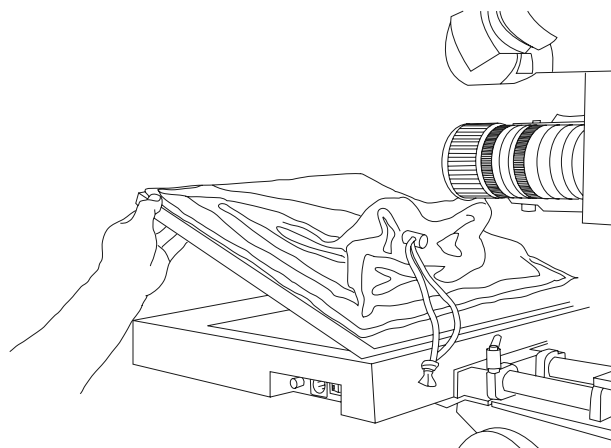
6.プロンプタ本体とカメラ台座結合部のネジにて本体をしっかり固定します。



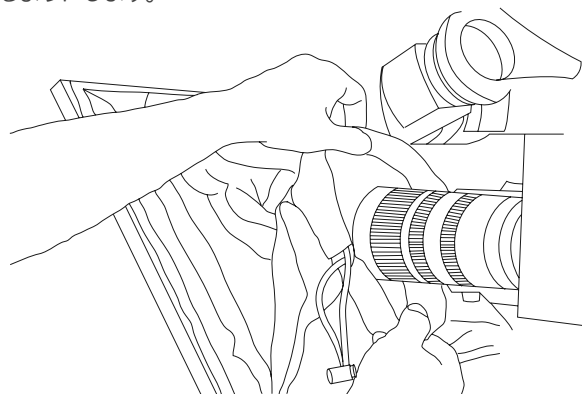
- 7.カメラ台座の三脚プレートにカメラを固定し、ロック金具をゆるめてカメラを前後させ、レンズの先端がプロンプタ本体の後端より少し前(0～数cm)になるようにしてロック金具にて固定します。



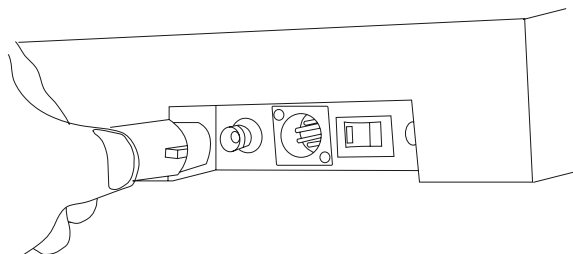
- 8.プロンプタ本体正面の天板ロック金具をはずし天板を上げます。



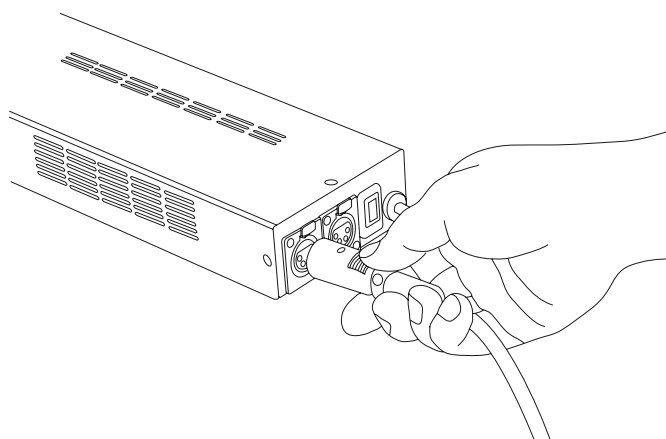
- 9.天板を上げた後遮光カバーがきちんとレンズを包み込むようにかぶせ、カバーの端のひもを締めて遮光カバーを閉じるようにします。



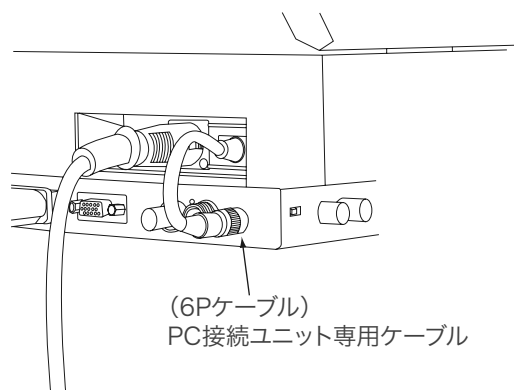
10.プロンプタ本体にて4Pケーブルを接続します。



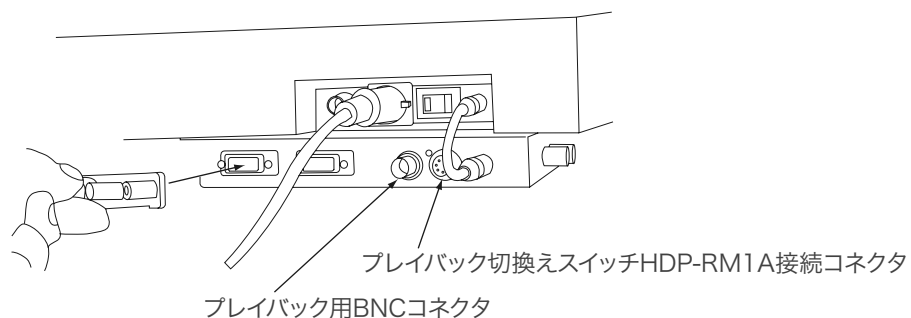
11.4PケーブルをAC電源に接続します。



12.HDP-1500のHIF-500に接続します。

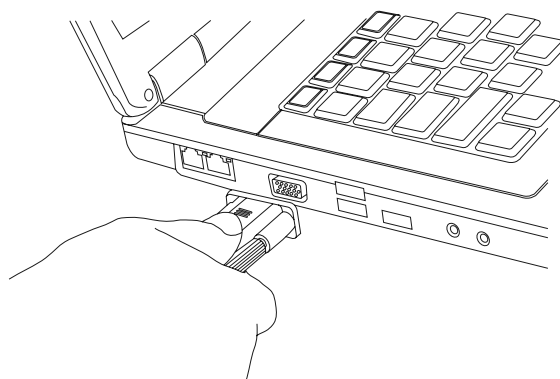


13. プロンプタに表示させる信号ケーブルを接続します。
本体のみ場合は VIDEO IN(BNCx1 コンポジット)にBNCケーブルを接続します。PC接続ユニット
HIF-500をお使いの場合は付属の15PケーブルにてPCと接続します。

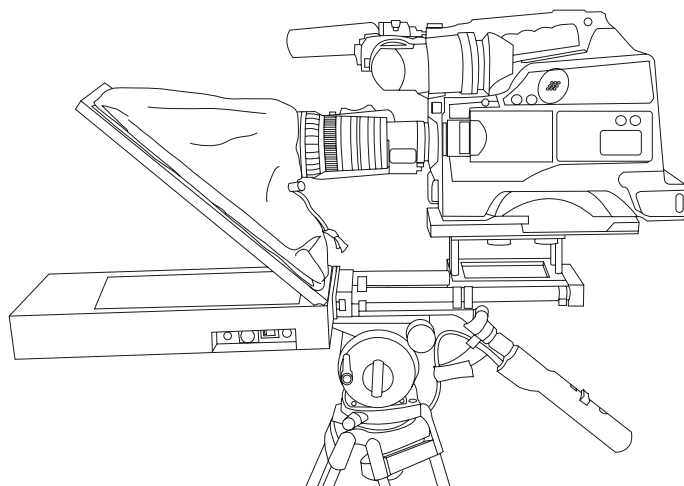


※プレイバック表示をする場合は上記のプレイバック用BNCコネクタにBNCケーブルにてコンポジット信号を入力して下さい。またプレイバックコネクタに別売りのHDP-RM1Aを接続して下さい。

14. 付属の15PケーブルをブローマPCと接続します。

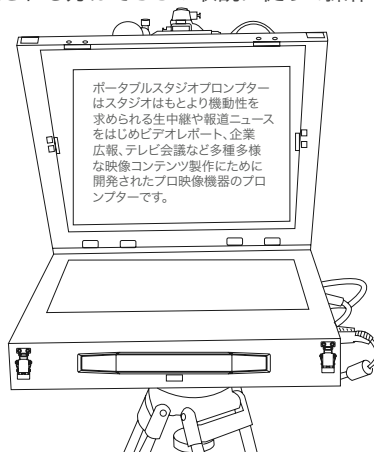


15. ナレーターの方が見やすいようにプロンプタの位置角度をカメラの映りと合わせて三脚にて調整した後プロンプタミラーの角度を天板の開度により調整を行い左側面のロック金具を締めて下さい。
以上より設定は完了です。

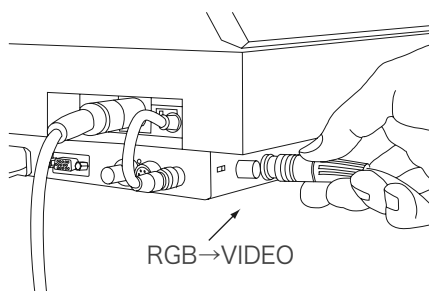


■出画方法

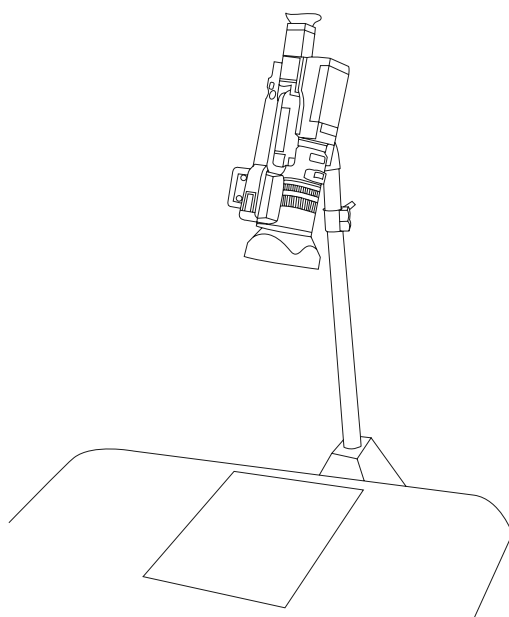
1. PC又はカメラを接続した後電源をONします。しばらくするとモニタに出力されます。キャストの方が見やすいように角度調整をします。
(注) PC及びソフトを使用される方はそちらの取説に従って操作して下さい。



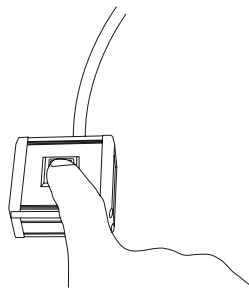
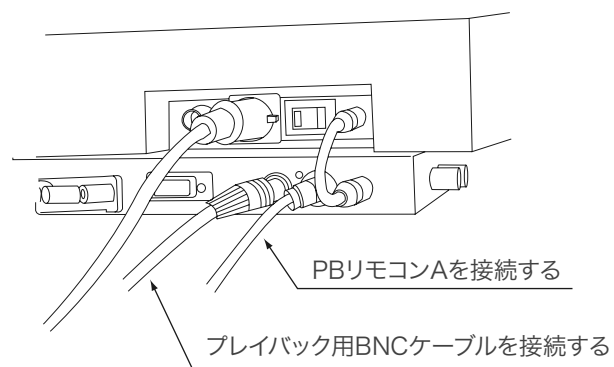
2. 書画カメラを使用する場合は本体下部の入力切換スイッチをRGBからVIDEOに切換えてVIDEO INにBNCケーブルにて接続します。



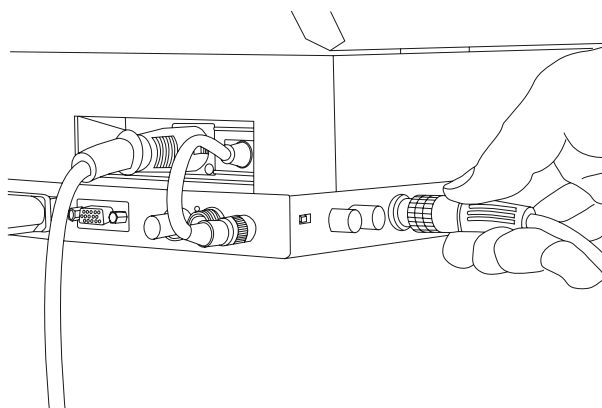
3. BNC接続の場合原稿用カメラを正しくセッティングし原稿が読みやすく表示できるようにします。



4.プレイバック映像を確認する場合はPBリモコンAを押すとPB IN入力に切り替わります。



5.プロンプタに出画されている画を別のモニタにて確認する場合はVIDEO OUTにBNCケーブルにて接続して、コンポジットモニタに出画します。





Proma

Pro Manuscripts Reader : Proma User's Guide

Proma ソフト ユーザーズガイド

PROTECH[®]
株式会社 日本ビデオシステム[®]

プローマPCの電源ボタンを押して起動します

プローマPCの電源ボタンを押すとWindowsXPが起動され、同時にPromaソフトが起動します。

原稿セットを作成します

Promaソフトを初めて起動すると、原稿セットの名称を入力するように促されます。ここで任意の名称を入力して、「OK」をクリックしましょう。



原稿セットとは

9つの原稿ボックスを束ねたファイルだとお考えください。ここにそれぞれ異なる原稿を格納して、表示したい原稿をボタン1つで呼び出すことができます。また、原稿セットはいくつも作成することができます。用途や目的に応じて複数のセットを使い分けると、制限なくテキストを保存することができます。

画面の説明



- 1、原稿セット新規作成：原稿セットを新しく作成します。
- 2、原稿セットの削除：現在表示している原稿セットを削除します。
- 3、保存原稿セットリスト：保存されている原稿セットのリストです。
- 4、原稿ボックス：原稿を格納するボックスです。9つの原稿ボックスに別れています。
- 5、文字サイズ：表示する文字サイズを3段階に設定出来ます。
- 6、行間：表示する文字の行間を3段階に設定出来ます。
- 7、表示モード：背景と文字色を設定出来ます。（2パターンのみ）
- 8、オンエア：実行ウィンドウに移ります。

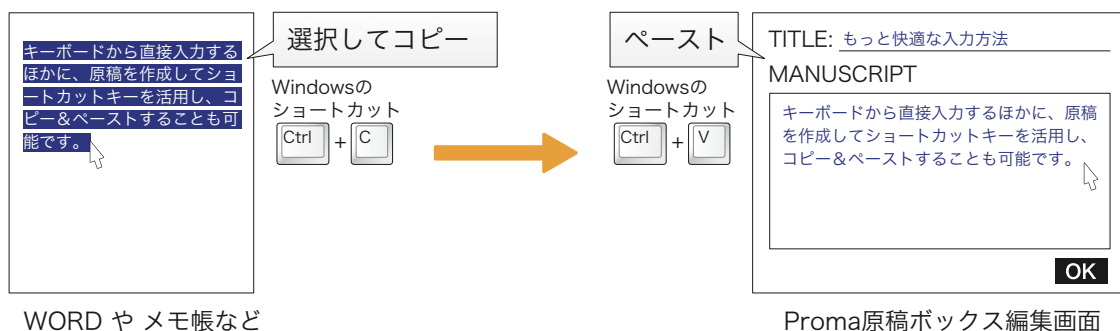
原稿ボックスを作成します

原稿セットには9つの原稿ボックスがあります。画面上の1～9の原稿ボックスをクリックすると、タイトルと本文入力画面が表れますのでここにPrimaでスクロールしたい文章を入力してください。入力が完了したら、画面右下の「OK」をクリックしてください。



もっと快適な入力方法

キーボードから直接入力するほかに、原稿を作成してショートカットキーを活用し、コピー＆ペーストすることも可能です。または、右クリックによるコピー＆ペーストも可能です。



※コピー＆ペーストを活用するには最大表示設定をなくす必要があります。
標準設定にするには、ウインドウの右上の  キーをクリックして下さい。



入力作業が終了しましたら、キーボードの半角/全角キーを押して直接入力モードにしてください

見栄えを設定します

設定ウィンドウの下部にあるボタンで、スクロールの際の見栄えを設定することができます。もちろん、既存の設定のまま実行ウィンドウに移っても大丈夫です。



文字サイズ

表示する文字のサイズを選びます。大きくすると、ひとつひとつの文字が見やすくなり、小さくすると沢山の文字を表示できます。1行あたり15文字（小）、10文字（中）、7文字（大）が入るサイズに調整されます。

行間

改行のペースを調節します。広くすると行と行の間隔が大きくなってみやすくなり、狭くするとより沢山の行数を表示できます。66 %（狭）、100 %（中）、150 %（広）の行間を表示します。

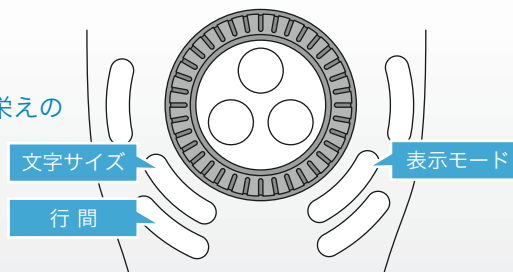
表示モード

背景と文字の色を設定します。「背景を白／文字を黒」にするか、「背景を黒／文字を白」にするかの選択肢があります。使用する環境や利用者の好みで使い分けてください。



コントローラでも設定できます。

原稿ボックスの再生中（オンエア中）見栄えの設定はコントローラから行えます。

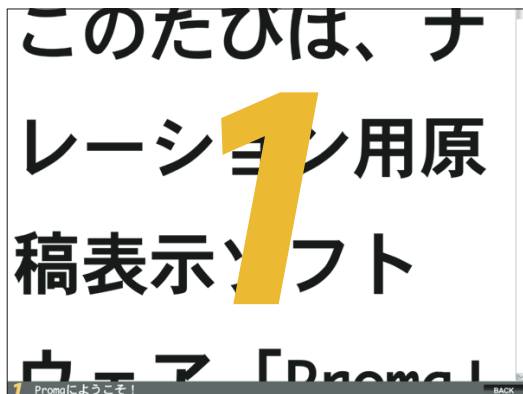


実行ウィンドウを開きます

操作をおこなう前に直接入力モードになっていることをご確認ください

設定ウィンドウの右下にある「ON AIR」ボタンをクリックすると、実行ウィンドウがフルスクリーンで表示され、設定ウィンドウで書き込んだテキストが表示されます。（ON AIRボタンは、1番の原稿ボックスが表示される様に設定しています。）

それぞれの原稿ボックスは、キーボードの「1」～「9」を押して呼び出すことができます。



 のキーを押すと、1番の原稿ボックスが呼び出されます。

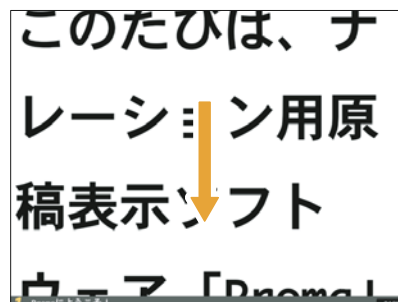


それぞれのキーに原稿ボックスが割り当てられています。

※原稿ボックスを切り替えると、画面中央に大きくボックス番号が数秒間表示されます。

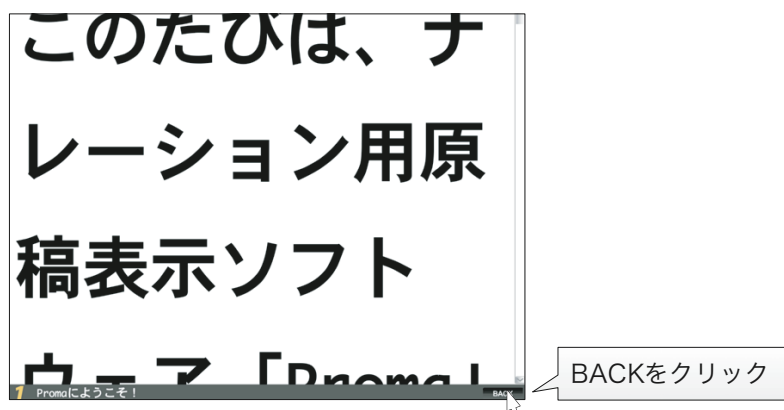
スクロールします

キーボードの「T,Y,U」を押すと、テキストが上に向かってスクロールします。「R」を押せばスクロールは静止します。逆方向にはキーボード「Q,W,E」を押します。



設定ウィンドウに戻るには

実行ウィンドウ右下の「BACK」ボタンをクリックします。

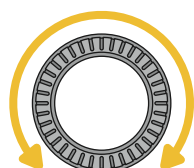
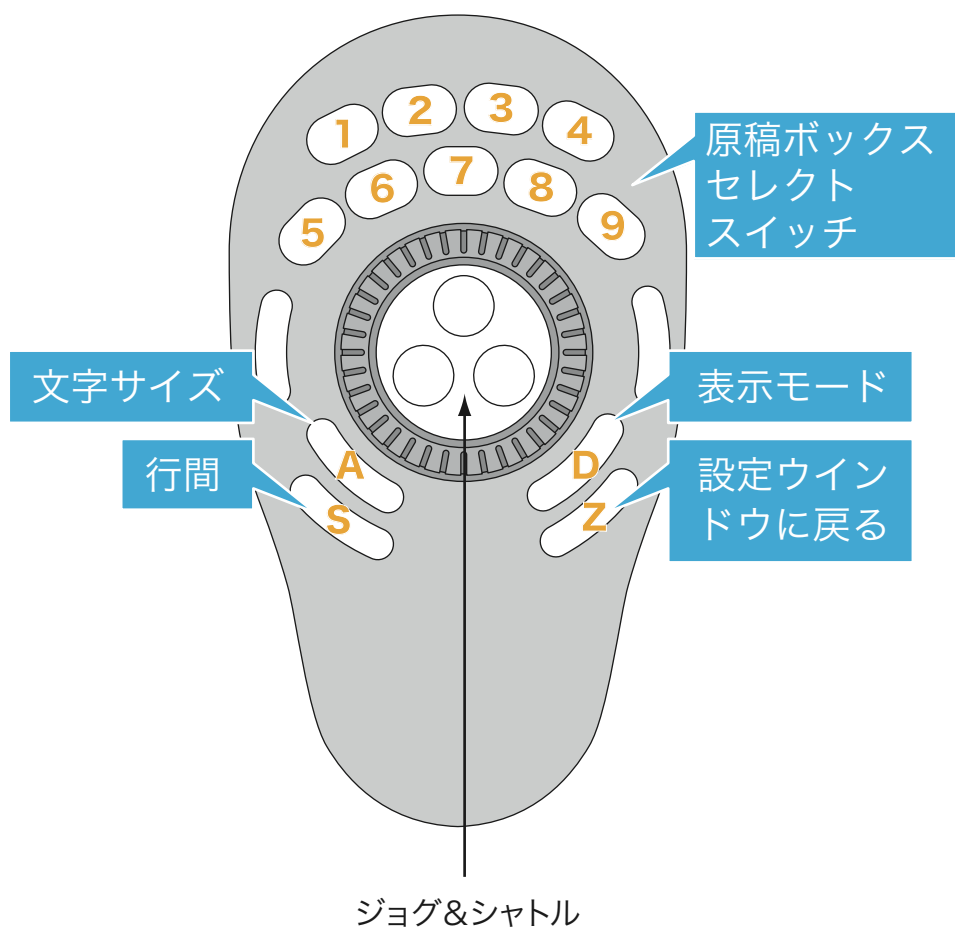


または、コントローラーの戻るボタンを押してください。

Promaを終了するには

ブローマPCの電源ボタンを押してください。

コントローラー



左に回すと、逆方向へスクロール
右に回すと、順方向へスクロール



左に回すと、一行戻る
右に回すと、一行進む

プロンプター本体に表示させるための設定

キーボードのFnキーを押しながらF8(CRT/LCD)キーを押して下さい。

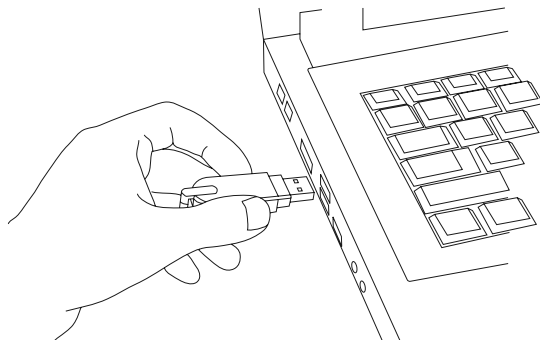


↑ 押しながら

F8キーを押すたびに設定が切りかわりますのでプローマPCとプローマ本体と両方に映像が出力されるように設定してください。

他のコンピューターで作成した内容を読むための方法

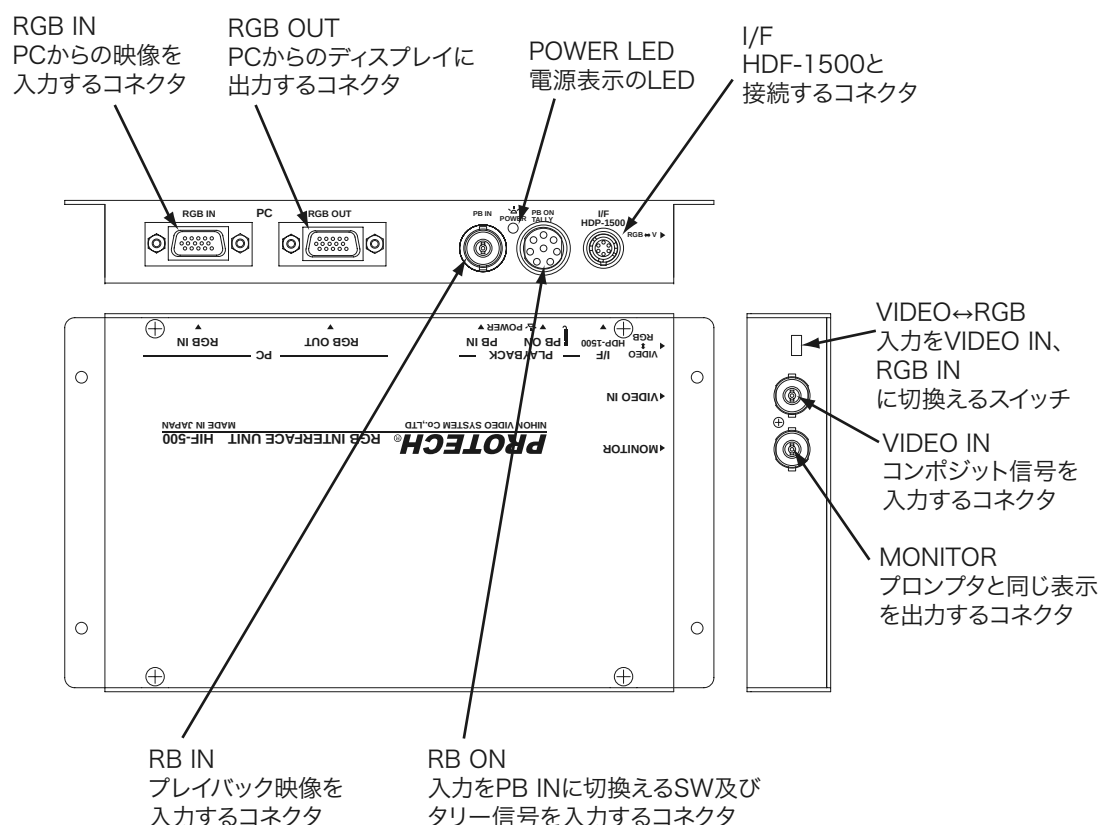
その他にも、他のパソコンで作成した原稿のデーターをUSBメモリー等のメディアに保存し、プローマPCへ移動させることも可能です。



HIF-500(オプション)

HDP-1500FにはHIF-500が取り付けられています。

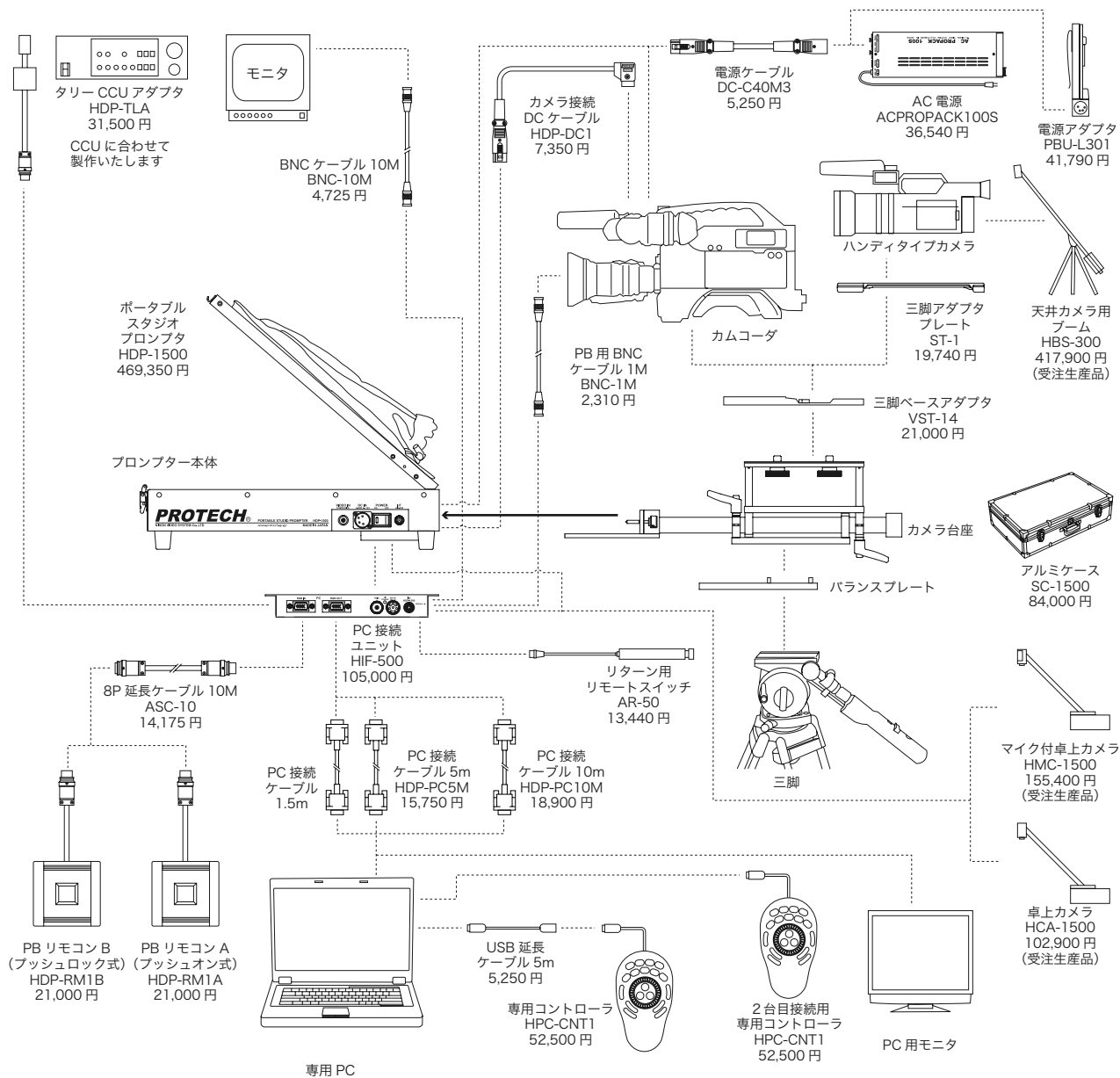
■各名称



■仕様

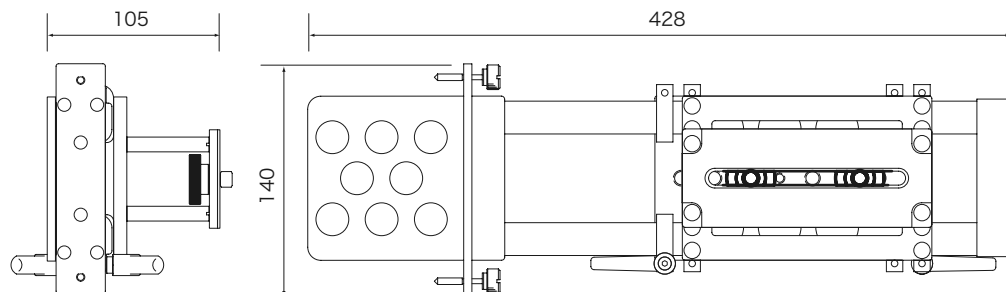
対応機種	アナログRGB (ミニD sub 15P)搭載のPC/AT互換機 アップルマッキントッシュシリーズ	
対応インターフェース	VESA VGA	
入力	PC IN	ミニD sub 15Px1
	VIDEO IN	BNCx1 (コンポジット)
	PB IN	BNCx1 (コンポジット)
出力	PC OUT	ミニD sub 15Px1
	VIDEO OUT	BNCx1 (コンポジット)
電源	DC12V (HDP-1500から専用ケーブル)	
外形寸法	194x25x113mm (幅x高さx奥行き)	
質量	約500g	

システム構成図

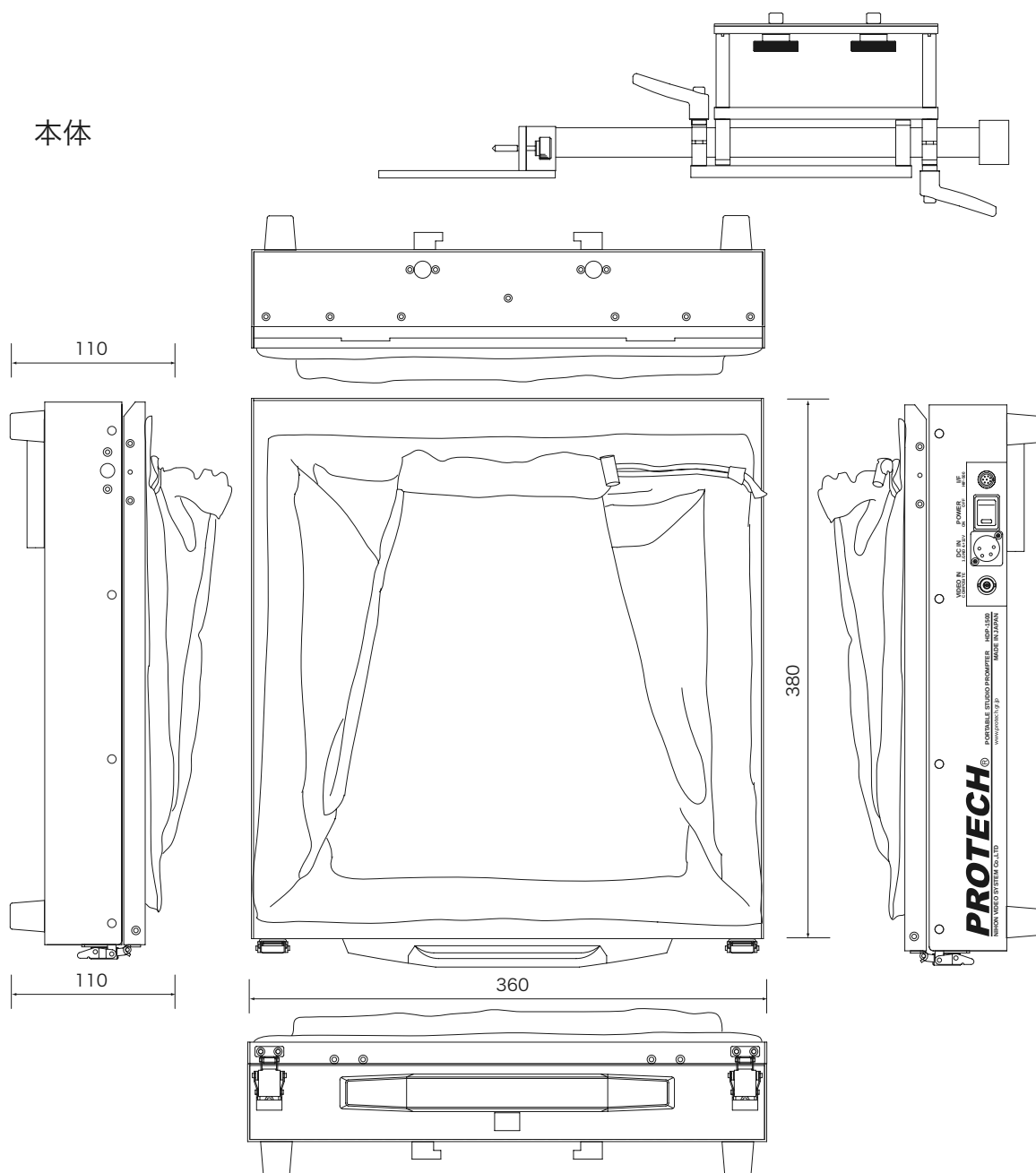


外観図

カメラ台座



本体



主な仕様

入力部		使用電源	
VIDEOIN BNC	x1(コンボジット)	DC入力	キャノン4Pオスx1 DC11～17V 約2.15A
PC IN Dsub15P	x1(HIF-500使用時)	消費電力	約26W
PB IN BNC	x1(コンボジットHIF-500使用時)	一 般	
出力部		動作温度	0℃～40℃
PC OUT Dsub15P	x1(PC IN接続HIF-500使用時)	保存温度	-10℃～50℃
MONITOR BNC	x1(コンボジットHIF-500使用時)	質量	本体7.4kg カメラ台座2kg
機 能		外形寸法	本体約360x110x380mm(幅x高さx奥行き)
タリー表示	x1		カメラ台座140x105x428mm(幅x高さx奥行き)
LCD POW SW	x1		
PB IN切替	x1(HIF-500使用時)		
I/Fコネクタ	x1(タリー入力、HIF-500 I/F用)		
付属品			
取扱説明書／保証書			

アフターサービス

■保証書

本製品には保証書が添付されています。

お買い求めの際に販売店の押印がない場合は、無効となります。

保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げいただいた日より一年間です。

■保証期間中の修理

保証規定に基づいて修理いたします。(送料等はお客様負担をお願いします。)

詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理

修理することによって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により、

有料で修理させていただきます。

■修理を依頼される前に

故障かな?とお思いになったらまず取扱説明書をよくお読みのうえ、

もう一度ご確認ください。それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、

またはサービスセンターへお問い合わせください。

■ご質問、ご相談について

アフターサービスについてのご質問、ご相談はお買い上げの販売店、

またはサービスセンターへお問い合わせください。

修理・お問い合わせ窓口

○website <http://www.protechweb.jp> ○e-mail support@protechweb.jp

PROTECH® サポートセンター

☎ 0567-24-4581

○受付時間 午前10時～午後6時まで(土・日・祝日を除く)

修理
品
送
り
先

(株) 日本ビデオシステム プロテックサポートセンター

〒496-8005 愛知県愛西市諸桑町郷城2 1 8 番地

TEL 0567-24-4581 FAX 0567-24-4577

会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。PROTECHは日本ビデオシステムの登録商標です。

0707